



# LEDバルブキット H3

## LEDバルブキット 淡黄色

### 取扱説明書

この度は、本製品をお買いいただきまして、誠にありがとうございます。本説明書に記載の注意事項をよくお読みになり、正しくお使いいただけますようお願いいたします。お読みになった後も本説明書は大切に保管し、紛失しないように注意ください。

本文中の△注意マークと△警告マークは取付け及び取扱いに関して大変重要な事項ですので必ず厳守してください。

### 作業の前に

- 本製品は、未登録車(登録前の車両)への取り付けは出来ません。必ず登録後の車両へ取り付けてください。
- 本製品は車検対応品ですが検査官によっては不適合と判断される場合があります。あらかじめご了承のうえ、取付作業を行ってください。
- 本製品は純正ハロゲンランプのH3LEDバルブキットとして設計しています。その他のランプの用途で使用した場合、車検基準に適合しない場合や車検が故障する場合がありますので、絶対に取り付けを行わないでください。
- 取付け作業前に下記「LEDバルブ点灯テスト要領」を参照し、必ず点灯テストを行ってください。
- 本製品を使用することによりラジオなどに雑音が入る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は使用するランプの種類によっては点灯時に色調が異なって見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品を使用することにより、一部の車両では球形警告灯が点灯したり、点滅などが発生する場合があります。その場合は本製品を使用しないでください。

### 安全上のご注意 △注意

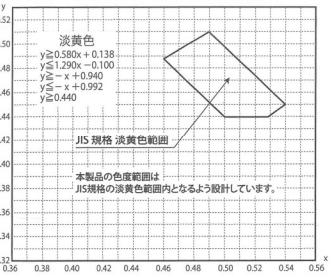
- 本製品は12V車、24V車共用です。6V車や48V車では使用できません。
- 本製品の取り扱いには十分注意し、落としたり無理な力を加えたりしないでください。特にLED素子は変形や壊れやすくなっていますため、ぶつけたり触ったらないでください。
- 点灯作業は必ず「ランプスイッチをOFFにして行ってください。」  
●点灯中や点灯直後は「ハブが熱いため、やけどなどにご注意ください。
- 本製品の改造や塗装は行わないでください。
- 点灯中のハブを直射しないでください。目が痛くなったり、視力障害の原因となることがあります。
- 幼児の手の届く場所に置かないでください。誤飲やケガの原因となることがあります。
- 本製品を使用中に工具が飛出した場合には、速やかに使用を中止して純正ハブに戻してください。
- 本製品を使用したことによる車両装置の破損や誤動作、それらにより生じた事故や損害について一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は耐水・耐塵設計になりますが、水滴や泥、粉塵等が直接触れないようにしてください。また、車両の清掃や整備時に、オイルやケミカル類等がかかるないようにしてください。
- 本製品はハロゲンバルブに比べ発热量が少ないため、フォグラントに付着した雪や氷が解けにくい場合があります。あらかじめご了承ください。



LSL-602Y

### 車検に関して

#### 発光色「淡黄色」 淡黄色の色度範囲

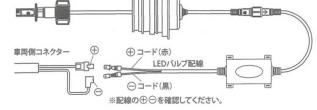


### LEDバルブ点灯テスト要領

※取扱前に必ず左右とも行ってください。

#### △点灯テスト手順

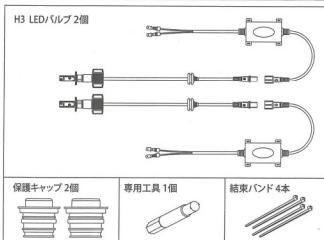
- ①純正ハロゲンハブのコネクターに本製品の記録の④確認して確実に接続してください。
- ②ランプスイッチをONにして、LEDバルブが正常に点灯することを確認してください。
- ③車両の計器類に警告表示がでていないことを確認し、点灯テストを終了します。



△警告 コネクターが抜いた状態で、ランプスイッチをONにしたリタスターを当てたりしないでください。車両の警告灯が点灯する恐れがあります。

-1-

### 構成部品



### 取扱手順と要領 △警告



ケガのおそれあり  
※ヒートシンクの角で指を傷めることができますので、手袋等を着用して作業を行ってください。



### [1] フォグラントの確認

- ①フォグラントの取り付け状態を確認してください。
- ②バルブ交換に伴う作業スペースが狭い場合は、フォグラントユニットを車両から外して作業を行ってください。

### [2] 純正ハブの取り外し

- ①フォグラント裏面のカバーを外してください。
- ②純正ハブの配線コネクターを外してください。
- ③ハブ止め金具を外し、純正ハブ(H3)を取り出してください。



▲カバーを反時計回りに回して外す



▲純正ハブを外したところ

※フォグラントの形状や純正ハブの取り外し方は、メーカーと車種によつて異なります。詳細な作業手順は、取り付けを行う車両の取扱説明書を参照してください。

-2-

### [3] LEDバルブの準備

- ①下図を参考にLEDバルブから口金を取り外してください。  
△注意 ※LEDバルブ本体から口金を取り外す際は手袋などを着用し、清潔なウエスで口金を持って作業を行ってください。素手で作業すると、ケガの原因となることがあります。



### [4] 口金の装着

- ①LEDバルブ本体から外した口金に専用工具を差し込み、右(時計回り)に回して、口金を保持してください。口金に専用工具を差し込む際、口金の差し込み部には大小2個の凹部があります。専用工具先端の大小2個の凸部に合わせてください。
- ②口金が保持されていない側の専用工具の先端を持って、フォグラントのハブ設置面の形状に合わせて、口金をフォグラントのハブ設置面に押し当てるでください。
- ③口金を押し当てる状態で、フォグラントのハブ止め金具で口金を固定してください。
- ④専用工具を左(反時計回り)に回し、口金から専用工具を抜き取ってください。
- ⑤フォグラントのハブ設置面に口金がしっかりと固定されているか確認してください。



### [5] LEDバルブ本体の装着

- ①口金の大小2か所の凹部とLEDハブ本体の大小2か所の凸部を合わせ、LEDハブ本体を口金にまっすぐ奥まで差し込んでください。
- ②LEDハブ本体を右(時計回り)に回転させて、LEDハブ本体を固定してください。
- ③LEDハブ本体がしっかりと固定されているか確認してください。



△注意 ※LEDバルブ本体を無理な力で回転させないでください。  
また、工具を使って回転させないでください。LEDバルブ本体やフォグラントが破損するおそれがあります。

### [6] 保護キャップの準備

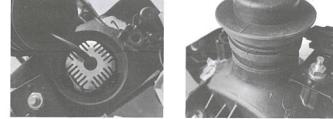
- ①フォグラント裏側の開口部の間に合わせて、保護キャップをカッターナイフ等で切ってください。保護キャップには2本の「切り取り目安線」が付いています。その線に沿って保護キャップを切ってください。
- ②開口部の小さいフォグラントは保護キャップを切り替えてください。

※保護キャップを使用せずに、取り付けができるフォグラントもあります。



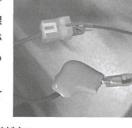
### [7] 保護キャップの取り付け

- ①保護キャップの先端に開いている穴にLEDバルブのハネネスを通し、保護キャップをフォグラントの開口部にしっかりとハメ込んでください。
- ②LEDバルブのハネネスに付いているブッシュの位置を調整して、保護キャップ先端の穴にハマってください。
- ③フォグラント内ハネネスが無理に曲がっていないか、LEDバルブ本体が保護キャップに当たっていないか等を確認してください。
- ④フォグラント内に雨水等が入らないように、防水処理を行ってください。



### [8] コネクターの接続

- ①車両とLEDバルブの線、線、線を繋いでください。LEDバルブの線は赤色、線は黒色です。配線の先端には平端子が付いています。車両のコネクターにしっかりと差し込んでください。
- ②配線がしっかりと繋がっているか確認してください。
- ③平端子の接続部は防水処理を行ってください。



△注意 ハブの脱着頻度が多いなどで、車両のコネクター端子が変形し、広がっている場合があります。その場合は、先端の小さなマイクログリーバー等でコネクターの差し込み側から広がった端子を挟めてください。



### [9] ハーネス、ドライバユニットの固定

- ①ドライバユニットを付属の結束バンドで、フォグラントユニット周辺の適切な場所に固定してください。不安定な場所、回転部品の周辺、熱くなる場所、鋭利に尖った場所等は避けしてください。
- ②余剰分のハーネスを適切な場所に固定してください。

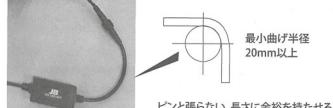


#### △警告

●余剰分のハーネスは、ドライバユニットと一緒に束ねないでください。

●ハーネスは無理な力で曲げたり引っ張ったりしないでください。

●ハーネスを曲げる際は、曲げ半径を20mm以上にしてください。



### [10] フォグラントの点灯確認

- エンジンを始動し、フォグラントスイッチをONにして、正常に点灯することを確認してください。

#### 保証に関して

①本製品の保証期間はお買い上げ日より2年です。

但し、お買い上げ日が特定できるレシートや領収書等をご提示ください。

②取扱説明書の注意事項、使用時の注意事項に従い、正常にご使用された場合に保証対象となります。

③保証範囲は日本製品の交換のみにさせていただきます。勝手工賃、車両回収費、諸経費などは保証範囲とさせていただけません。

④保証期間中でも下記内容の場合、保証対象外となることがあります。

⑤修理期間中に故障しても、使用上の誤り、または不当な修理や改造を行った場合。

⑥修理上の過失による落書きなどの衝撃による故障・誤動作は保証期間内でも対象となりません。

⑦保証期間を過ぎてからの故障・不具合等につきましては、修理・交換は対象とできません。

⑧保証につきましては、日本国内のみ有効となっております。

保証書

-3-